

MITSUBISHI 三菱電機パッケージエアコン別売 電気集じん器PAC-SH76AC 取付および取扱説明書

安全のために必ず守ること

- 据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実にこなしてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

- 据付工事完了後、試運転を行ない異常がないことを確認するとともに、本説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法、お手入れの仕方等を説明してください。
- また、この取付および取扱説明書はお客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

⚠警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。

- お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

据付工事は、この据付工事説明書に従って確実に行なう。

- 据付けに不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

台風などの強風、地震に備え所定の据付工を行なう。

- 据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因となります。

据付けは、重量に十分に耐えるところに確実に行なう。

- 強度が不足している場合は、ユニットの落下などにより、事故の原因になります。

電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及びこの据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路としかつ定格の電圧・ブレーカを使用する。

- 電気回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。

配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。

- 接続や固定が不完全な場合は、発熱・火災等の原因になります。

室内外ユニットの端子盤カバー（パネル）を確実に取付ける。

- 端子盤カバー（パネル）取付けに不備があると、ほこり・水等により、火災・感電の原因になります。

改造は絶対にしない。

- 修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 改造したり修理に不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。

お客様自身で移動・再据付けはしない。

- 据付けに不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。
- お買い上げの販売店または専門業者にご依頼ください。

集じんエレメントおよびエアフィルターを清掃するときは必ず元電源を切ること。

- 高電圧部に触れた場合、感電の原因になります。

据付けをする前に（環境）

⚠注意

特殊環境には使用しない。

- 油（機械油を含む）、蒸気、硫化ガスなどの多い場所、海浜地区など塩分の多い場所、積雪により室外ユニットが塞がれるところに使用しますと性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。

可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れの恐れがある場所へは据付けない。

- 万一ガスがユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になることがあります。

厨房など油煙の多い環境には据付けない。

- 電気集じん器の性能が著しく低下したり、部品が破損する原因になります。

精密機器・食品・動植物・美術品の保存等特殊用途、及び各種実験室・測定室には使用しない。

- 保存物の品質低下等の原因になることがあります。

濡れて困るものの上にユニットを据付けない。

- 湿度が80%を越える場合やドレン出口が詰まっている場合は、室内ユニットからも露が落ちる場合もあります。また、暖房時には室外ユニットよりドレンが垂れますので、必要に応じ室外ユニットも集中排水工事をしてください。

病院、通信事業所などに据付けられる場合は、ノイズに対する備えを充分に行なう。

- インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤動作や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音など弊害の原因になることがあります。

本製品は集じんエレメントPAC-SH56KFとセットでのご使用となります。

本製品は下記との組み合わせには対応していません。

- ・カンタン自動パネル（MPLP-P160BJシリーズ）
- ・パワー脱臭フィルター又は脱臭フィルター
- ・外気取入れ

据付け（移設）工事をする前に

⚠ 注意

製品の運搬は充分注意して行なう。

- 20kg以上の製品は原則として2人以上で行なってください。PPバンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないでください。素手でフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。

梱包材の処理は確実に行なう。

- 梱包材には「クギ」等の金属あるいは、木片等を使用していますので放置状態にしますとさし傷などのケガをする恐れがあります。

据付台等が傷んだ状態で放置しない。

- 傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながり、ケガ等の原因になることがあります。

エアコンを水洗いしない

- 感電の原因になることがあります。

電気工事をする前に

⚠ 注意

設置場所（水気のある場所等）によっては漏電遮断器を取付ける。

- 漏電遮断器が取付けられていないと感電の原因になることがあります。

電源配線は、電流容量に合った規格品の電線を使用すること。

- 漏電や発熱・火災の原因になることがあります。

電源配線は張力が掛からないように配線工事をする。

- 断線したり、発熱・火災の原因になることがあります。

アース工事を行なう。

- アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

正しい容量のヒューズを使用する。

- 大きな容量のヒューズや針金・銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。

試運転をする前に

⚠ 注意

運転を開始する12時間以上に電源を入れる。

- 電源を入れてすぐ運転開始すると、故障の原因になることがあります。シーズン中は電源を切らないでください。

パネルやガードを外した状態で運転をしない。

- 機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。

エアフィルタを外したまま運転をしない。

- 内部にゴミが詰まり、故障の原因になることがあります。




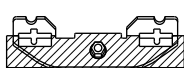

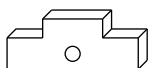
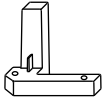
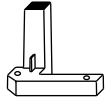

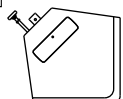

濡れた手でスイッチを操作しない。

- 感電の原因になることがあります。

運転停止後、すぐに電源を切らない。

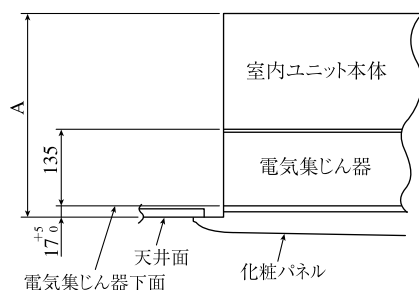
- 必ず5分以上待ってください。水濡れや故障の原因になることがあります。

1. 部品の確認 (この箱の中には本説明書と下記部品が入っています。)

品番 品名 個数	①電気集じん器 1	②座付ネジ(M5*15黒色) 4	③金具取付ネジ(M5*12) 8	④化粧パネル固定用金具 4	⑤化粧パネル用断熱材A 1	⑥化粧パネル用断熱材B 1
形 状						
品番 品名 個数	⑦スイッチレバー 1	⑧スイッチレバー(ゴム付) 1	⑨スイッチレバー取付ネジ(4*8) 2	⑩運転表示パネル 1	⑪集じんエレメント固定ネジ(M5*10) 2	
形 状						

2. 室内ユニット本体の取付

- 電気集じん器を取付ける前に室内ユニット本体の現地配線(電源、リモコン線、M-NET等)を施工してください。電気集じん器を取付けた後では作業ができません。
 - 室内ユニット本体の据付工事説明書を参照し、取付けてください。取付に際し、以下の点にご注意ください。
- (1)据付に必要な寸法は下図のようになります。



室内ユニット	A
小形機種	393
大形機種	433

※但し、ユニット天面と天井スラブ等の間は、10~15mmあけてください。

- (2)グリルの開閉方向が決まっています。(4ページ参照)

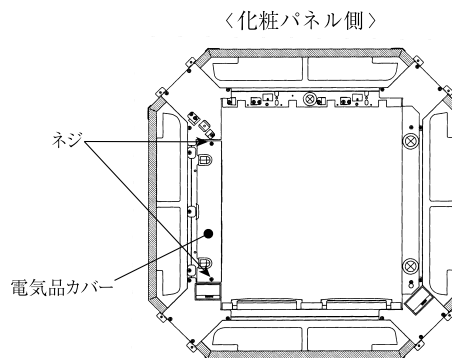
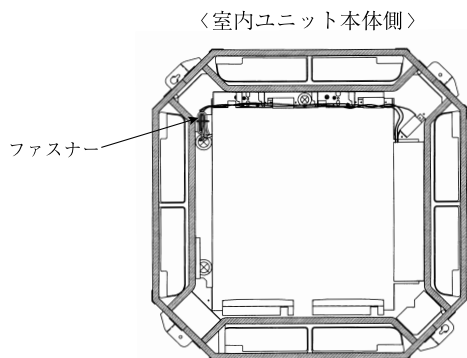
3. 電気集じん器の取付

取付前の準備 (室内ユニット本体側)

- 吹き出し口数を変更する場合の別売吹出口シャッタープレートは、室内ユニット本体に取付けますので、電気集じん器①を室内ユニット本体へ取付ける前に作業します。 ※2方向吹出しはできません。

取付前の準備 (電気集じん器側)

- 電気集じん器の電気品カバーを取外します。(ネジ2本)
- 電気集じん器の配線を束ねているファスナーを取外します。



室内ユニット本体配線工事

- 電気集じん器①を取付ける前に必ず配線工事(内外接続線,リモコン線等)を実施してください。 ※電気集じん器取付後の配線工事は難作業となります。

3. 電気集じん器の取付 のつづき

仮止め ※必ず二人で作業を実施してください。

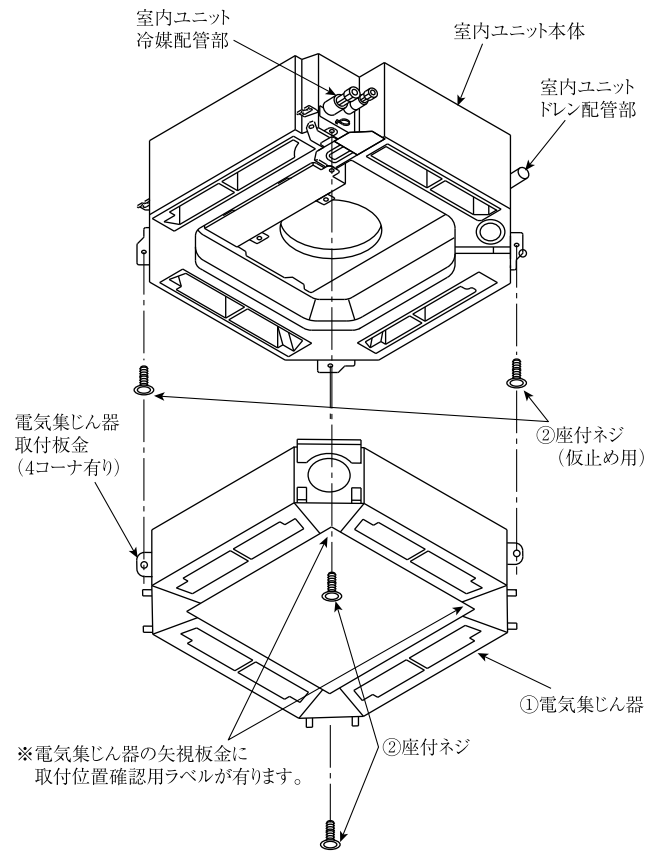
- 室内ユニット本体の右図の位置（ドレン配管コーナ部とその対角）に付属の座付ネジ②を2本固定します。
- 電気集じん器①のダルマ穴部を座付ネジ②に引掛け仮止めします。

固定

- 仮止めした座付きネジ②2本と、残りの座付きネジ②2本を仮締めし、電気集じん器①の位置が合ったのを確認した後、座付きネジ②を固定します。

注意

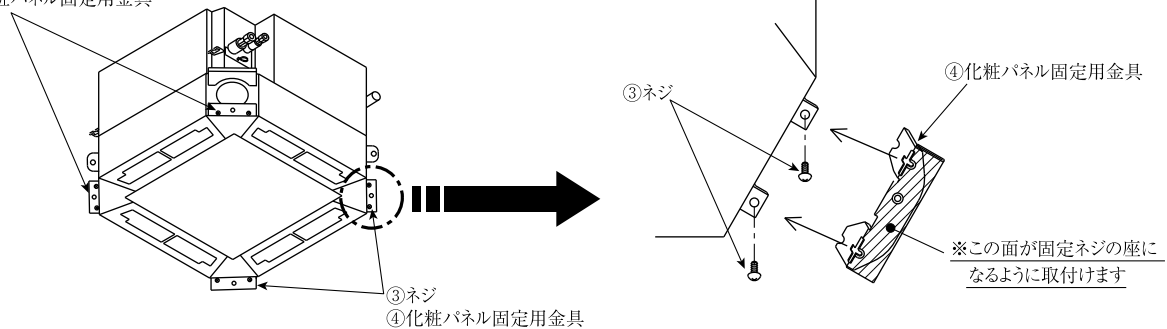
- 4ヶ所の座付ネジの仮締めをする。
- 仮締めせずに固定しますと、座付ネジが破損したり、風もれの原因になります。



化粧パネル固定用金具の取付

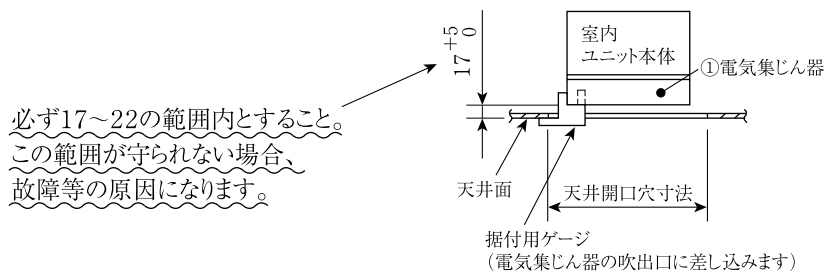
- 電気集じん器①の各コーナ部に、化粧パネル固定用金具④4ヶをネジ③8本にて固定します。(下図参照)

- ③ネジ
- ④化粧パネル固定用金具



据付高さの調整

- 下図のように化粧パネル付属の据付用ゲージにて、天井面と電気集じん器①の高さ位置を再調整します。

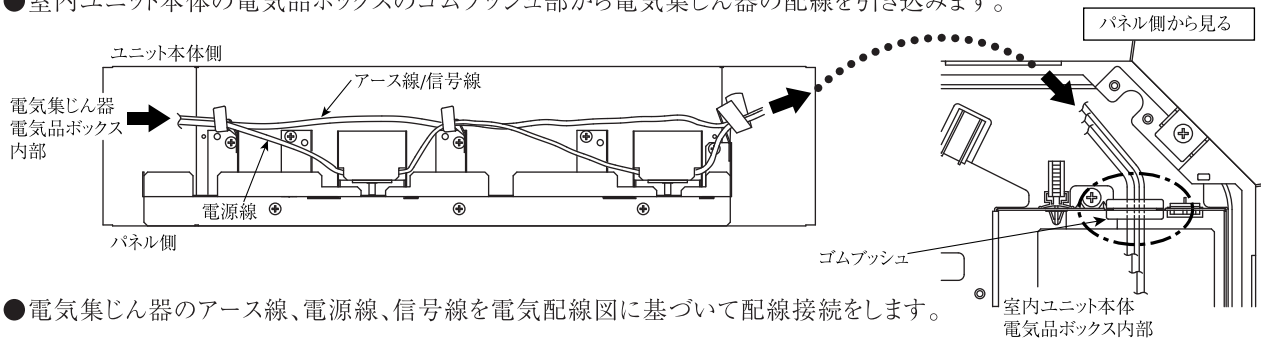


3. 電気集じん器の取付 のつづき

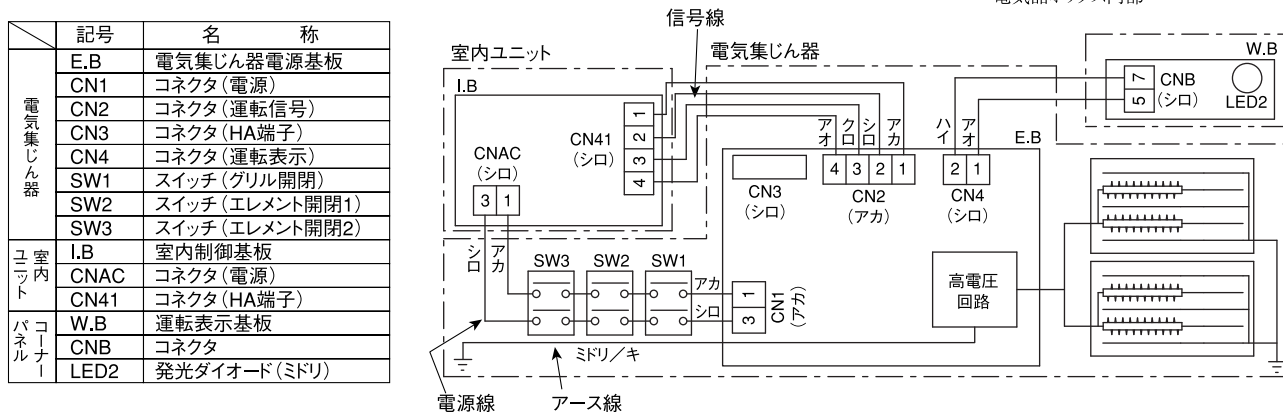
室内ユニット本体への配線接続

電気集じん器のアース線、電源線、信号線を室内ユニット本体へ接続します。

- 室内ユニット本体の電気品カバーを取外します。(ネジ3本)〔仮掛け可〕
- 室内ユニット本体の電気品ボックスのゴムブッシュ部から電気集じん器の配線を引き込みます。



- 電気集じん器のアース線、電源線、信号線を電気配線図に基づいて配線接続をします。



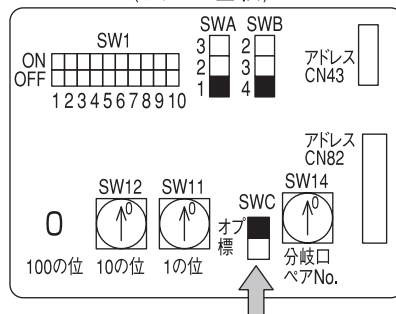
電気集じん器取付時の風量アップ設定

※電気集じん器を取付けた場合は、風量アップの設定を行なう必要があります。

⚠注意	風量アップの設定をする。
	●設定に不備があると風量が低下し、能力の低下及び露たれ等が発生する原因になります。

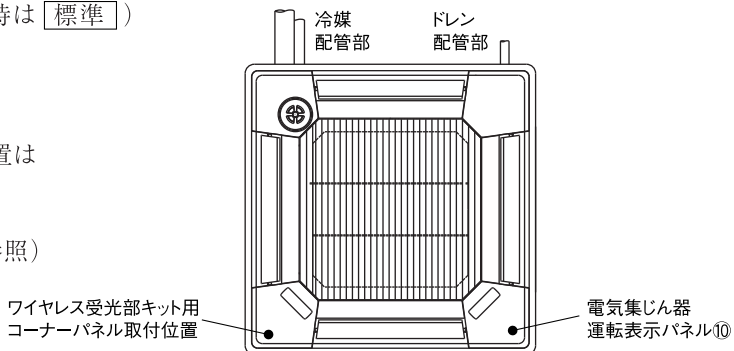
- 1) 組合せ室内ユニットがBAシリーズの場合
 - リモコンからの設定となりますので、リモコンに付属してあります据付工事説明書の「機能選択」の頁をご覧ください。(オプション組込み“有り”に設定してください)
- 2) 組合せ室内ユニットが上記以外の場合
 - 室内ユニット本体のアドレス基板のスイッチ“SWC”を「オプション」側に設定します。(工場出荷時は「標準」)

〈アドレス基板〉



ワイヤレス受光部キットを取付ける場合

- ワイヤレス受光部キット用コーナーパネルの取付位置はドレン配管の対面側となります。ワイヤレス受光部キット取付説明書記載の取付位置と異なりますので、ご注意ください。(右図参照)



電気集じん器のHA端子について

- 電気集じん器取付時は室内ユニット本体のHA端子(CN41)は使用できません。HA端子を使用する場合は電気集じん器の電源基板上のCN3コネクタを使用し、CN3の隣りにジャンパー線(JHA)がある場合は、JHAをニッパー等で切断してください。

化粧パネルをしばらくの間取付けられない場合、またはユニットを据付けた後に天井材を張られる場合には、室内ユニット本体の据付用型紙(梱包材天面キャップ)を使用してユニット内へはこりを入れないための保護シートとしてください。

4. 化粧パネルの取付

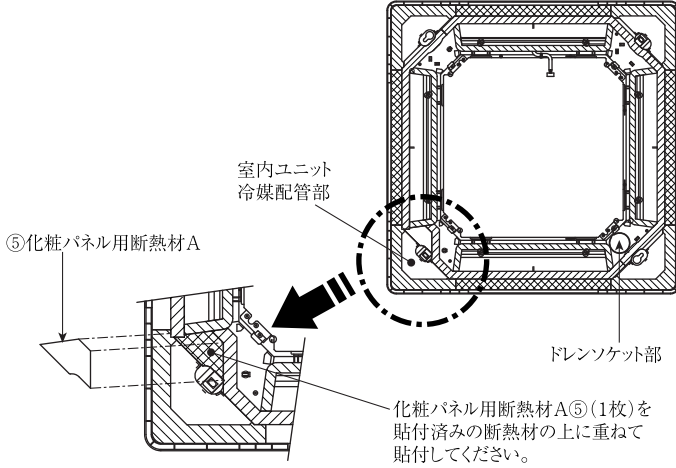
⚠️ 注意

化粧パネルに断熱材を貼付する。
 ●断熱材A・Bを必ず貼付してください。貼付しないで運転すると、露たれ等の原因となります。

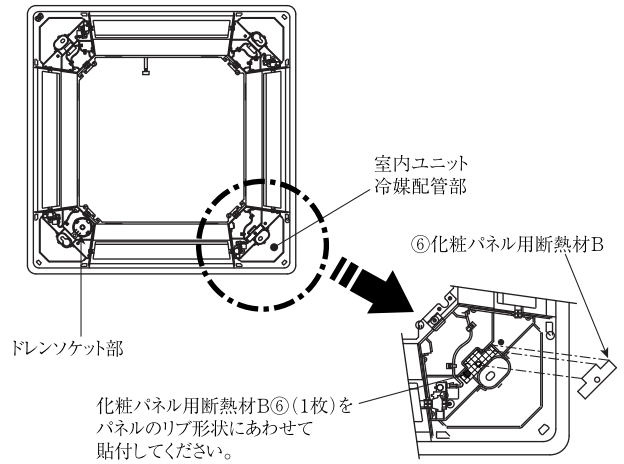
取付前の準備

- 下図に示すように、化粧パネルに断熱材A⑤（1枚）と断熱材B⑥（1枚）を貼付してください。コーナーパネル等の取外し方は、化粧パネル付属の据付工事説明書を参照願います。

<非意匠面側>



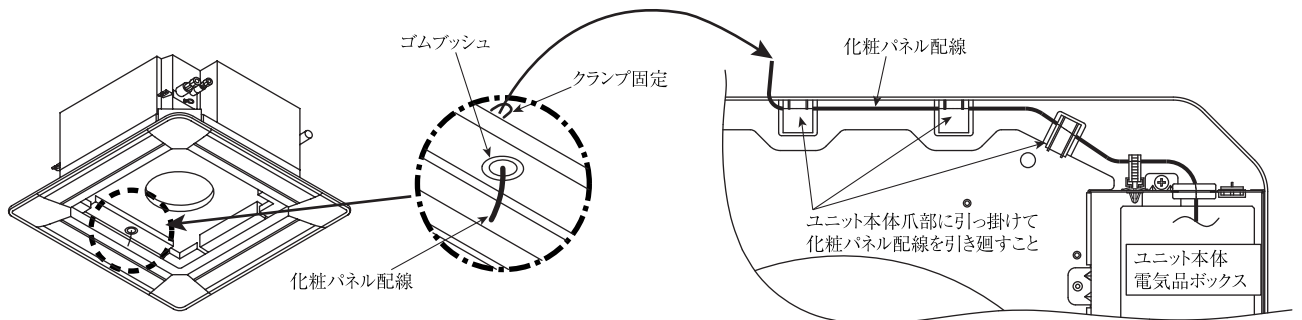
<意匠面側>



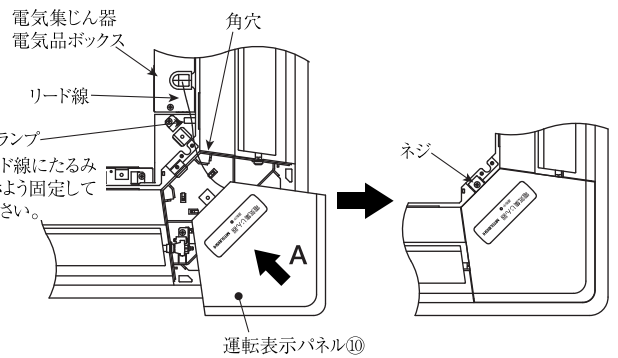
化粧パネルの取付

化粧パネル付属の据付工事説明書を参照し、取付けます。

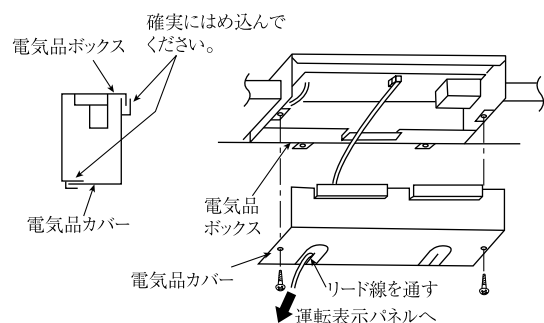
- 化粧パネルのドレンソケット部は必ず室内ユニットのドレン配管部に合わせて取付けてください。
 ※取付けに不備があると、露たれ等の原因になります。
- 化粧パネルの配線は電気集じん器のゴムブッシュを通し室内ユニット本体に接続します。



- 化粧パネルの室内ユニット本体の冷媒配管側と対角にあるコーナーパネルを付属の運転表示パネル⑩と交換します。
 運転表示パネル⑩のリード線を化粧パネルのコーナー部の角穴から引き出し、コネクタを電気集じん器電源基板のCN4に接続します。
 運転表示パネル⑩を右図のように矢印Aの方向にスライドし、コーナー部のネジを固定します。
 (ネジは化粧パネルのコーナーパネル固定ネジを流用します。)



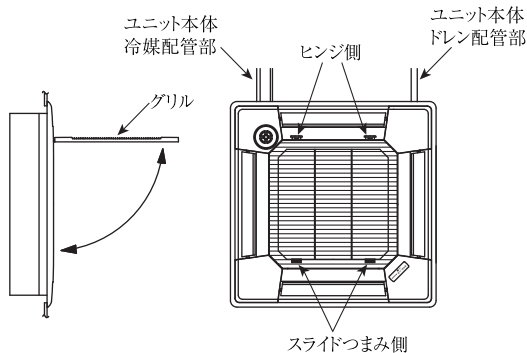
- 電気集じん器の電気品カバーを元通り取付けます。取付の際、リード線を板金でかみ込まないように注意してください。



4. 化粧パネルの取付 のつづき

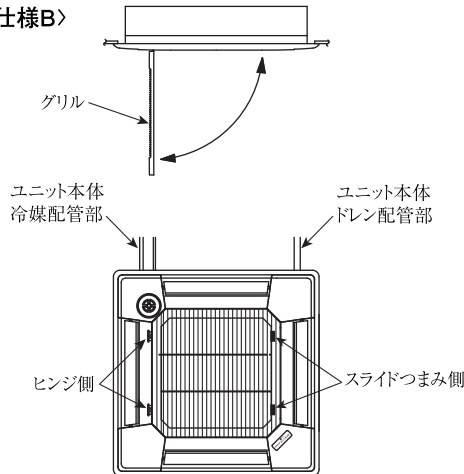
- グリルにスイッチレバー⑦又は⑧をスイッチレバー取付ネジ⑨2本で下図のように取付けます。グリルの開閉向きで取付け位置が異なりますので、ご注意ください。

<グリル取付仕様A>



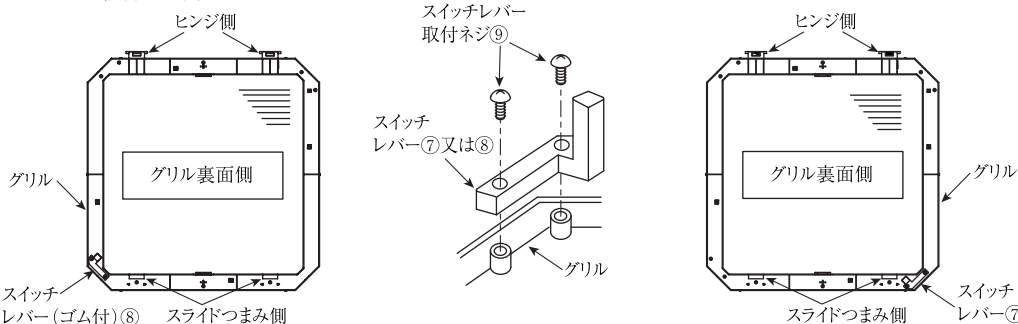
上図のように取付ける場合、
下図の位置にスイッチレバー(ゴム付)⑧を取付けます。

<グリル取付仕様B>



上図のように取付ける場合、
下図の位置にスイッチレバー⑦を取付けます。

● スイッチレバー取付け方法



- ※取付位置を間違えないよう注意してください。間違えると電気集じん器の運転ができません。
- ※スイッチレバーは確実に固定してください。ガタつきがあると部品の破損など故障の原因になります。

5. 集じんエレメントの取付 集じんエレメントを取付けます。

- 集じんエレメントの引掛け部を下図のように電気集じん器に引掛けます。風向きの矢印が奥へ向くように取付けてください。

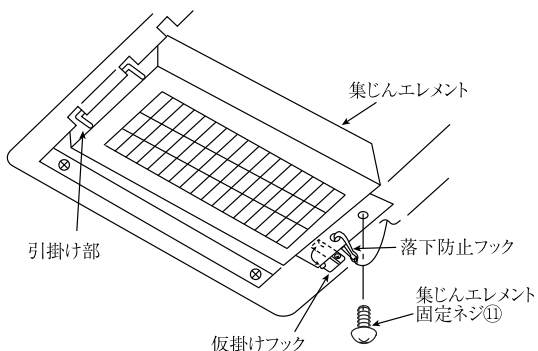
- 集じんエレメントの引掛け部を反対側に押し上げて落下防止フックを取付け後、ネジ⑩で固定します。その際、集じんエレメントは仮掛けフックを90°回転させ引掛けることにより、ネジ固定作業を容易に行うことができます。作業終了後は元の位置に戻してください。



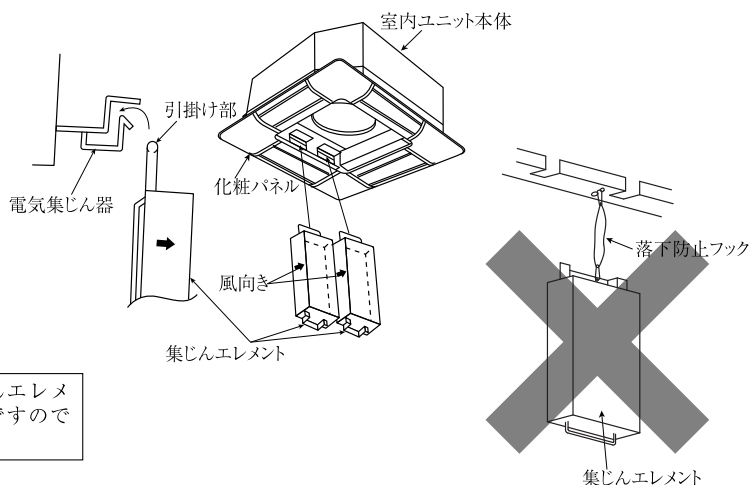
警告

集じんエレメントを落下防止フック
だけで吊り下げないでください。

- 集じんエレメントの落下などにより
事故の原因になります。



落下防止フックは集じんエレメントの落下を防ぐものですので必ず取付けてください。



6. 運転の確認

- 据付工事が完了しましたら、運転の確認を行ってください。
- 空調機のリモコンをオンにすると、数十秒後に化粧パネルコーナー部の運転ランプ(緑色)が点灯します。(空調機が運転しているにもかかわらず、運転ランプが点灯しない場合は配線、集じんエレメント、吸込グリル、スイッチレバー等が正しく取付けられているか確認してください。)

7. メンテナンス

集じんエレメントを定期的に洗浄してください。洗浄は下記の要領に沿って行ってください。
 メンテナンス期間の目安 一般事務所：約2,500時間 パチンコ店：約300時間（約1ヶ月）

(1) 準備するもの

- 集じんエレメントを入れる容器
- 市販の家庭用アルカリ洗剤

(2) 洗浄液を作ります。

家庭用アルカリ洗剤に記載されている要領で洗浄液を作ります。

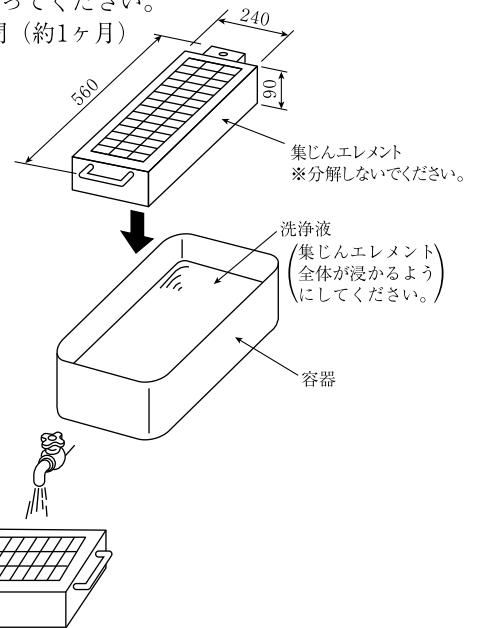
(3) 集じんエレメントを取外します。

(5. **集じんエレメントの取付** と逆の要領です。)

(4) 集じんエレメントを洗浄液の入った容器の中に入れ、2時間ほど浸け置きしてください。

(5) 集じんエレメントを取り出し、水洗いして、洗浄液を充分に落としてください。

- 裏、表両面にきれいな水を全体にかけてください。

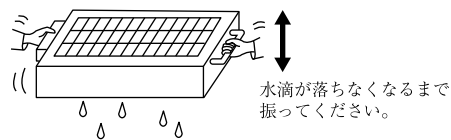


⚠ 注意

- 水洗いは充分行ってください。
- 洗浄液が残っていると、絶縁が低下し、正常に運転しない場合があります。

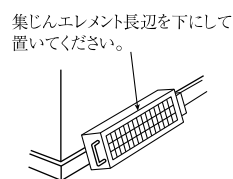
(6) 集じんエレメントを乾かします。

① 集じんエレメントの両端を持ち、水滴が落ちなくなるまで、よく振ってください。



② 直射日光の当たるところや、高温高湿のところをさけて2時間ほど放置します。

③ もう一度、水滴が落ちなくなるまで、振ってください。



④ ケースの表面に水滴が残っていないことを確認します。

(7) 集じんエレメントを取付けます。

(5. **集じんエレメントの取付** にしたがって取付けてください。)

⚠ 警告

- 集じんエレメントを取外す際は必ず電源が切れていることを確認してください。

⚠ 注意

- 強アルカリ性の洗剤は使用しないでください。

⚠ 注意

- ドライヤーなどで温風を当てないでください。
- ホースの先端を押さえるなどして、勢いのある水を直接当てないでください。
- 部品の変形など破損の原因になります。

8. 運転について

- 電気集じん器は空調機のリモコン運転スイッチがオンの間、運転します。
- 運転中は化粧パネルコーナ部の運転ランプ(緑色)が点灯します。
- 空調機が運転しているにもかかわらず、運転ランプが消えている場合は以下のことが考えられます。

状 況	考えられる要因	処 置
長時間(1ヶ月以上)運転した。	集じんエレメントが非常に汚れている。	集じんエレメントを洗浄してください。
洗浄後数時間運転し、消えた。	水分が集じんエレメントに残っている。	集じんエレメントを取外し、乾かしてください。
	洗浄液が付着している。	もう一度水洗いしてください。

- 再運転する場合は空調機の電源を入れ直してください。(室内ユニット本体のグリルの開閉でも同じです。)